

「ごみ減らし隊」通信

りゅうがさき

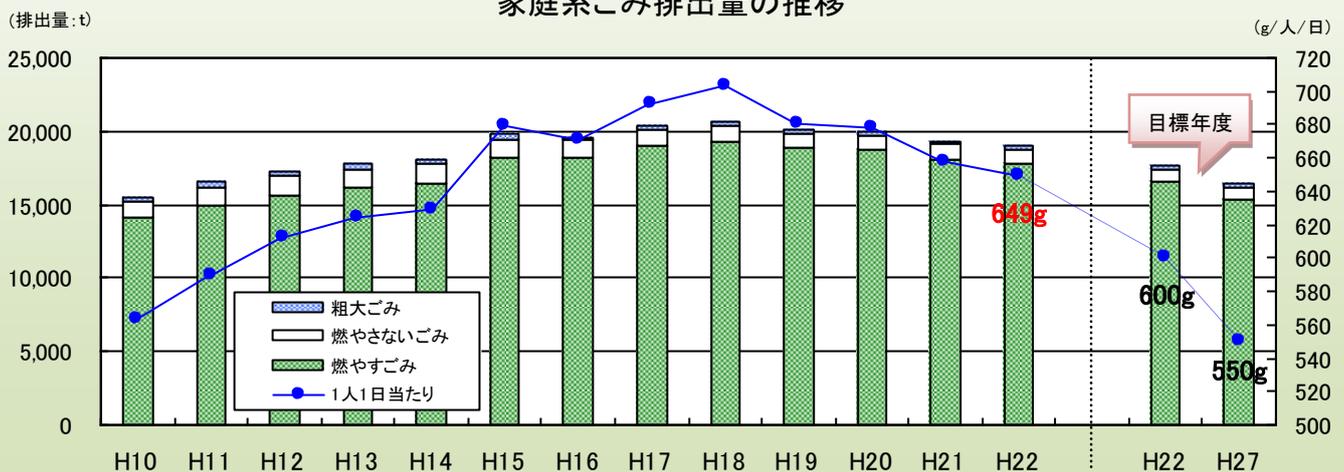
平成23年8月

◆ 龍ヶ崎市のごみの現状 ◆

<家庭系ごみの排出量>

家庭系ごみの排出量は、平成18年度をピークに19年度以降、減少しています。1人1日当たりの排出量についても、おおむね同様の傾向にあり、平成22年度は649グラムで前年度より9グラム減少しています。しかし、残念ながら本市の「ごみ処理基本計画」に定める短期目標値（＝平成22年度までに600グラム）を達成することはできませんでした。市では、引き続き最終的な目標値（＝平成27年度までに550グラム）の達成に向けて、ごみの排出抑制・減量化に取り組んでまいります。

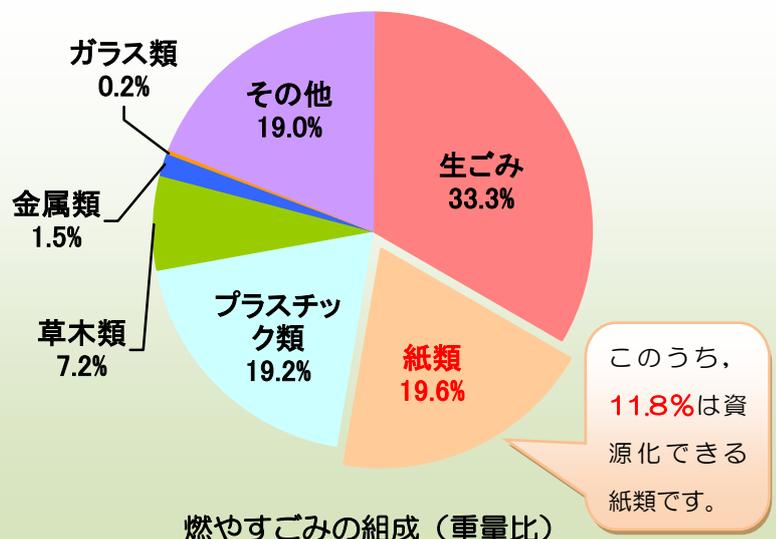
家庭系ごみ排出量の推移



<家庭系ごみ組成調査の結果>

市では、排出された家庭ごみの内容を、定期的に分析調査しています。その結果、平成22年度の燃やすごみで最も大きな割合なのは「生ごみ（33.3%）」で、全体のおよそ3分の1を占めています。次いで、「紙類（19.6%）」「プラスチック類（19.2%）」の順に多く、この3種類で燃やすごみの7割以上となっています。

これらのごみの中には、ペットボトルや白トレー、紙製の箱などの資源物が多く含まれていました。



～ 生ごみの水きり（ひとしぼり）にご協力を～

平成22年度の燃やすごみ組成調査で、33.3%が生ごみという結果が出ています。平成22年度に家庭から排出された燃やすごみは、17,783トンなので、 $17,783\text{トン} \times 33.3\% = \text{約}5,922\text{トン}$ もの生ごみが家庭から排出されたこととなります。これにより、ごみの減量を図るためには、生ごみを減らすことが大きな鍵を握っていることがわかります。生ごみの減量に向け、まずは生ごみの水切りにチャレンジ！

◆ 生ごみの約80%は「水分」です

水分を含んだ生ごみは、それ自体が重くなるばかりでなく、腐敗して悪臭の原因にもなります。さらに、水分を多く含んだ生ごみを焼却するためには相当な燃料エネルギーを使用します。各家庭で**1日大さじ2～3杯（30～45グラム）の水切り**で、**年間約300～500トン**の生ごみが減量できることとなります。

- 生ごみを濡らさないようにしましょう。
- 濡れてしまった生ごみは、①新聞紙に一度くるんで水気を取る（新聞紙は乾かして資源へ）、②水切りネットなどを利用して絞る（さまざまな水切りグッズが販売されていますので、ご利用ください）。



新聞紙で水切り



三角コーナ



水切りネット

ごみダイエットキャラバンを開催します

ごみ減量・資源化の推進に対する理解と関心を深めながら、ごみ処理の現状をはじめ、ごみの出し方・分別方法、ごみ減量施策などに関して市民の皆さんと行政との意見及び情報交換を行う「ごみダイエットキャラバン 2011」を各コミュニティセンターで開催します。ぜひご参加ください

（開催日程）

- 9/3（土） 龍ヶ崎西 ①、龍ヶ崎 ②
- 9/4（日） 城ノ内 ①、駒馬台 ②
- 9/11（日） 松葉 ③
- 9/18（日） 川原代 ③
- 9/19（月） 駒柴 ③
- 9/23（金） 長戸 ①、八原 ②
- 9/24（土） 大宮 ①、久保台 ②
- 9/25（日） 長山 ①、北文間 ②



※開始時間：①＝9時30分から、②＝14時から、③＝16時から



昨年の「ごみダイエットキャラバン」の様子

「ごみ減らし隊」説明会を開催

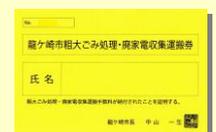
5月21日（土）、流通経済大学を会場に、「龍ヶ崎市廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）」説明会を開催しました。今回の推進員は第3期メンバーとなる方々で、各住民自治組織等からの推薦に基づいて、192の方が登録（委嘱）しています。

今後、推進員の皆さんには、地域のリーダーとして、地域内のごみ減量・リサイクルの推進に取り組んでいただきますので、あたたかいご支援とご協力をお願いします。



「粗大ごみ処理・廃家電収集運搬券」が郵便局でも購入可能に！

粗大ごみの処分や家電リサイクル法に基づく家電4品目（テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣料乾燥機）の収集運搬に必要な「粗大ごみ処理・廃家電収集運搬券（1枚につき1,500円）」が7月20日から**市内の郵便局**でもお買い求めいただけるようになりました。どうぞご利用ください。



※「ごみ減らし隊」通信は、龍ヶ崎市廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）の地域でのごみ減量・リサイクル活動や、市の施策をお知らせするものです。